

産業建設委員会

質 水道整備事業の今後の見通しは。
答 今後の経営状況の見通しについては、一般家庭の節水意識の向上、少子高齢化や人口減少等が見込まれ、また、設備投資に係る企業債償還等の支出が増加する見込みで、企業経営は厳しくなっていく。今後も建設改良事業の平準化や企業債の借り入れの抑制、経費の削減に努める。

質 住民は少しでも早い下水道整備を期待しているが、どのように考えているか。
答 極端な企業債の借り入れや、一時的な改良事業の増加は経営の圧迫が懸念され、バランスをとりながら整備を進める必要がある。整備を望んでいる地域の方々には、可能な限り早期に整備できるよう努力したい。

質 イオン出店に関し、農地転用、開発許可について審査中で許可の決定がおりていない状況の中で、予算を計上しなければならぬのか。
答 この実施設計の予算は、配水管移設の事業費見込み等の設計をするためのものである。開発行為等の許可がおりなければこの実施設計は無駄になるかもしれないが、イオン側の負担で実施設計を進めたいと考えている。

質 街なか商店街イメージアップ補助金の概要は。

答 来街者の増加を図るため、建物景観の改修または建物解体工事をしようとする方を支援するもので、シャッターの塗装、外壁の補修、木質化等への改修などが補助対象となっている。

質 旧料亭金勇は木都のしろを象徴する建物であり、景観が変わらないような改修、修繕ができないものか。
答 今回計上した実施設計業務委託料は、文化庁の補助金を活用して改修を行うもので、専門家の意見を伺いながら進めたい。

質 旧料亭金勇の今後の改修の考え方は。
答 国の登録有形文化財となっているため、外観は変えず、現在の状況で復元、改修を行い、歴史的な価値をそのまま後世へ引き継ぎたい。

(小林秀彦)



産業建設委員会の様子

庁舎整備特別委員会

質 第一庁舎の各執務室において、床のどこぼこや天井から電話線等の垂れ下がりなど、以前と同じ職場環境にある。労働環境改善のため新庁舎と同様にOAフロアにするなど検討できないか。
答 第一庁舎の改修は、当初より事業費を抑えるという考え方で、レイアウトの変更に伴う間仕切りの撤去及び新設、空調機器の設置、老朽化した設備の更新、現行の建築基準法に適合させるための改修等を行うことと進めてきた。職場環境の向上については今後検討していきたい。

質 執務室の床のどこぼこを改修しなかったのは改修工費が不足であったためか。
答 改修工費の算定に当たっては、基本計画の段階で国土交通省の基準を参考に概算工費を積算し、その額を目安として実施設計する際、改修箇所の内容を検討したところ、床の改修ができなかったものである。

質 長い期間使用する庁舎であるため、職員の執務する床の部分だけは経費をかけて改修することは考えられないか。
答 キャビネットや机と床にすき間が生じた場合は、簡易な方法で当面对応していくことになるが、執務室の床の改修については、工事期間、経費、手法などについて検討し、可能な方法があれば対応していきたい。

(佐藤智一)

議会基本条例策定特別委員会

当委員会は、6月定例会において、議会基本条例の策定に向けた調査及び検討を行うため、委員定数8名とする特別委員会を設置し、7月24日及び9月22日に会議を開催した。

委員会の進め方について

意見 議会改革に関する検討会から議会運営委員会へ提出される報告書や資料を参考とし、今後の協議を進めてはどうか。

意見 条例の策定スケジュールをいつまでとするかによって、本委員会を開催する頻度が変わってくる。報告書等資料のうち、各党派提出の議会基本条例に対する意見や条例案等の資料をもとに、早期に検討を進めたい。

意見 議会運営委員会において、報告書の取り扱いを、本委員会へ送付するか決まらなければ、活用するかの結論を出すことは難しい。

協議結果 議会運営委員会から本委員会へ報告書が送付された後、各党派で報告書の内容を精査し、議会閉会中の11月に委員会を開催の上、条例策定期のめども含め、検討を進めることとした。

(落合康友)